

おむすび同時作成ギネス世界記録挑戦：完全ガイド

目次

- ・ 第1部: 概要
 - 1. 企画概要
 - 2. 目的・ビジョン
- ・ 第2部: 背景調査
 - 3. ギネス記録の現状と歴史
 - 3.1 最新記録
 - 3.2 記録の歴史的意義
 - 3.3 2016年の記録更新ラッシュ
 - 3.4 成功事例の分析
 - 4. 記録達成の技術的要件
 - 4.1 基本ルール
 - 4.2 失格となる理由
 - 4.3 失格率の実績データ
- ・ 第3部: 組織・資金
 - 5. 実行委員会体制
 - 5.1 コア3軸
 - 5.2 事務局
 - 5.3 運営方針
 - 6. 予算計画
 - 6.1 収入の部

- 6.2 支出の部
- 6.3 収支見通し

・ **第4部: 実行計画**

- 7. タイムライン
 - 7.1 目標設定
 - 7.2 全体スケジュール
- 8. 会場計画
 - 8.1 会場の強みと制約
 - 8.2 設営計画
 - 8.3 炊飯計画
 - 8.4 衛生管理
- 9. 集客・広報・後援
 - 9.1 参加者募集戦略
 - 9.2 事前準備: オンライン説明会
 - 9.3 広報・メディア戦略
 - 9.4 後援
- 10. ギネス申請プロセス
 - 10.1 申請手順
 - 10.2 公式審判員派遣

・ **第5部: 当日運営**

- 11. 当日オペレーション
 - 11.1 タイムテーブル
 - 11.2 人員配置
 - 11.3 ボランティアスタッフ
 - 11.4 雨天時の対応
- 12. 審査・記録・証拠収集
 - 12.1 審査基準と検査プロセス
 - 12.2 記録・証拠の収集

・ **第6部: リスク・法務**

- 13. リスク管理と対策
- 14. 法的手続き・届出一覧
- 15. 個人情報保護・プライバシーポリシー

・ **付録**

- 付録A. 参加者向け案内（当日の持ち物・注意事項）
 - 付録B. 連絡先・問い合わせ窓口
 - 付録C. 用語定義
 - 付録D. 最終チェックリスト
 - 付録E. 記録未達・達成後の対応
 - 付録F. まとめ
 - 付録G. 変更履歴
-

第1部: 概要

1. 企画概要

項目	内容
イベント名	おむすび同時作成ギネス世界記録挑戦
主催	おむすびギネス糸島実行委員会（設立準備中）
開催日	2026年5月30日（土） 12:00開始
会場	伊都の杜 しばふ公園（福岡県糸島市）
形式	屋外開催、テントなし、雨天決行
挑戦内容	5分間で梅干し入りおむすびを握り、「最多人数での同時おにぎり作り」の世界記録を更新
現世界記録	1,876人（2017年11月5日、川崎JC）
目標参加者数	2,500人（先着募集）
参加費	大人 ¥5,000 / 学生（小学生～大学生） ¥2,500（記念Tシャツ付き）
予算規模	収入 ¥17,400,000 / 支出 ¥17,400,000（収支均衡）
実行委員長	松田一葉
3つのコア	松田一葉（おむすび・集客・SNS）、石長史康（ディレクション・ギネス・対外）、中内雄希（会場・制作・スポンサー）
公式サイト	https://omusubi-guinness-itoshima.com

2. 目的・ビジョン

2.1 なぜ、おむすびなのか

おむすびは日本人にとって最も身近な食文化であり、子供から高齢者まで誰もが握ることができる。年齢・性別・経験を問わず、2,500人が同じ瞬間に同じ動作をする——この普遍性と一体感こそが、世界記録への挑戦にふさわしい。

2.2 なぜ、糸島なのか

糸島は豊かな農業と海の幸に恵まれた「食の街」であり、地元産の米・梅干しでおむすびを握ることに意味がある。伊都の杜しばふ公園は730世帯・約2,300人が暮らす住宅地の中心にあり、「地域から生まれるギネス世界記録」にふさわしい舞台である。

2.3 本プロジェクトが目指すもの

1. **世界記録の達成:** 現記録1,876人を大幅に上回る2,000人以上の成功
 2. **糸島の地域ブランド強化:** 「おむすびギネスの街・糸島」としての全国的認知の獲得
 3. **日本の食文化の発信:** おむすびを通じて、米食文化の価値を国内外に再発信
 4. **地域コミュニティの結束:** 実行委員会・参加者・スポンサー・ボランティア・地域住民が一つの目標に向かう体験の創出
-

第2部: 背景調査

3. ギネス記録の現状と歴史

3.1 最新記録

「最多人数での同時おにぎり作り」

- ・ **記録:** 1,876人
- ・ **達成日:** 2017年11月5日
- ・ **記録保持者:** 公益社団法人 日本青年会議所 川崎JC
- ・ **開催地:** 神奈川県川崎市
- ・ **総参加者数:** 1,980人
- ・ **失格数:** 104人(失格率5.3%)

3.2 記録の歴史的意義

川崎は江戸時代の東海道の宿場町として、携帯に便利な三角形のおにぎりが誕生した場所とされており、おにぎり発祥の地としての歴史的背景を持っています。この文化的意義が記録挑戦に深い意味を与えました。

3.3 2016年の記録更新ラッシュ

2016年には、わずか約4ヶ月間で**6つの新記録が次々と樹立される異例の競争**が繰り広げられました。この歴史から成功のパターンを学ぶことができます。

記録更新の詳細推移

1. 帯広大谷高校（北海道）

- ・日付: 2016年7月8日
- ・人数: 845人
- ・会場: 帯広大谷高校
- ・イベント: 学校の文化祭の一環
- ・特徴: 初めての大規模な同時作成記録

2. 能代市（秋田県）

- ・日付: 2016年7月17日
- ・人数: 858人（907人が挑戦）
- ・主催: 能代市青年会議所
- ・失格数: 49人（失格率5.4%）
- ・更新期間: わずか9日後

3. 湯川村（福島県）

- ・日付: 2016年10月9日
- ・人数: 976人

- ・**特徴:** 100人以上の大幅な記録更新

4. 旭川市（北海道）

- ・**日付:** 2016年10月10日
- ・**人数:** 1,273人（1,292人が挑戦）
- ・**主催:** 上川地区農業協同組合
- ・**イベント:** 秋の収穫祭2016
- ・**使用米:** 北海道産「ゆめぴりか」（プレミアム品種）
- ・**失格数:** 19人（失格率1.5%）
- ・**特徴:** 翌日に記録更新という驚異的なスピード

旭川市の厳格な審査基準:

- ・各おにぎりに梅干し1個を中に入れる
- ・制限時間5分以内
- ・おにぎりの形が保たれていること
- ・梅干しが外から見えないこと
- ・最低重量・サイズの基準を満たすこと
- ・公式審判員が全てのおにぎりを個別検査

5. 鳥取市（鳥取県）

- ・**日付:** 2016年10月16日
- ・**人数:** 1,436人
- ・**会場:** 美保南小学校
- ・**特徴:** 旭川市の記録発表を受けて参加者数を増員

6. 桑名市（三重県）

- ・**日付:** 2016年11月3日
- ・**人数:** 1,621人（1,670人が挑戦）
- ・**失格数:** 49人（失格率2.9%）

- ・特徴: 2016年の最終記録

この競争から学べる重要ポイント

1. **メディア効果:** 各記録達成がニュースとなり、他地域の挑戦を刺激
2. **地域活性化:** 地方自治体や農協が地域PRとして活用
3. **コミュニティ結束:** 学校、企業、住民が一体となって参加
4. **スピード感:** 記録更新の情報が伝わると、数週間で次の挑戦が実現
5. **失格率の管理:** 適切な事前練習により失格率を1.5-5.4%に抑制

3.4 成功事例の分析

旭川市の成功要因 (1,273人、2016年)

1. **地域農協の全面支援:** 上川地区農協が主催し、組織力を活用
2. **プレミアム米の使用:** 北海道ブランド「ゆめぴりか」で話題性
3. **厳格な品質管理:** 失格率1.5%という驚異的な低さ
4. **収穫祭との連動:** 既存イベントとの組み合わせで動員力向上
5. **徹底した事前練習:** 参加者への丁寧な指導

川崎JCの成功要因 (1,876人、2017年)

1. **歴史的意義の強調:** おにぎり発祥の地という文化的背景
2. **青年会議所のネットワーク:** 全国組織の動員力
3. **子供の夢支援:** 社会的意義のあるテーマ設定
4. **メディア戦略:** 事前から当日まで継続的な露出
5. **2,000人近い参加者:** 余裕を持った人数設定

成功のための黄金律

1. **目標人数+余裕を募集:** 2,500人募集で2,000人成功を狙う
2. **オンライン説明会で事前準備:** 複数回開催で全員カバー

3. 地域コミュニティとの連携: 伊都の杜2,300人の住民基盤
4. 社会的意義の設定: お米文化の発信、地域の結束
5. メディア戦略の徹底: 3月からの継続的露出
6. 充実した当日運営: 実行委員会+ボランティアの体制
7. 完璧な記録・証拠: ドローン空撮を含むビデオ・写真・文書の3点セット

4. 記録達成の技術的要件

4.1 基本ルール

制限時間: 5分以内

おにぎりの条件:

1. 梅干し1個を中に入れる
2. 梅干しが外から見えない状態にする
3. おにぎりの形が崩れていない
4. 最低限の重量とサイズを満たす (80~120g目安)
5. 審判員の個別検査に合格する

4.2 失格となる理由

- ・ **梅干しが見える:** 最も多い失格理由
- ・ **形が崩れている:** 握りが弱い、米がポロポロ落ちる
- ・ **サイズ不足:** 小さすぎるおにぎり
- ・ **重量不足:** 米の量が少なすぎる
- ・ **時間超過:** 5分以内に完成しなかった

4.3 失格率の実績データ

開催地	挑戦者数	成功者数	失格数	失格率
旭川市	1,292	1,273	19	1.5%
桑名市	1,670	1,621	49	2.9%
川崎市	1,980	1,876	104	5.3%
能代市	907	858	49	5.4%

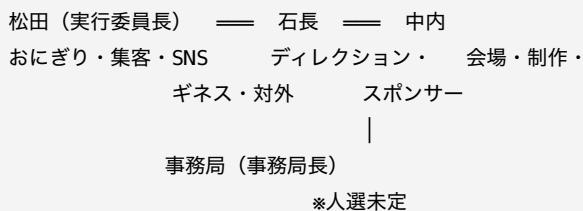
分析: 失格率は1.5-5.4%の範囲。2,500人規模の挑戦では、失格率5%で2,375人の成功が見込め、現記録（1,876人）を大幅に上回る余裕がある。

第3部: 組織・資金

5. 実行委員会体制

5.1 コア3軸

コア3軸（横並び・対等な権限）



本プロジェクトは以下の3軸で推進する。松田は実行委員長だが、3人は対等な権限で各自の部門をグリップする。

松田（実行委員長/おにぎり・集客・SNS）

- ・ おにぎりオペレーション: 米・釜・梅干しの調達、炊飯チーム編成、当日の米関連オペレーション
- ・ 広報（SNS）: インスタを中心とした発信、リール制作

- ・Tシャツの発注・配布管理: 発注・納品・配布（デザインは梅野さん、フリーサイズを検討中）
- ・クラファン/魂参加枠: 300口の募集・管理
- ・スポンサー営業: 中内さんと共同

石長（ディレクション・ギネス・対外）

- ・全体ディレクション: スケジュール管理、実行委員会の進行、意思決定のファシリテーション
- ・ギネス折衝: ギネス委員会との全やりとり、5月30日に伊都の杜へ着地させることに専属で注力
- ・審判員の確保・トレーニング: ギネスレギュレーションに基づく審判員の募集・研修設計
- ・映像・記録のディレクション: ギネス証拠資料の要件定義、カメラマン・ドローンの手配指示
- ・ドキュメント作成: 事業計画書、ガイドブック等
- ・広報（HP）: ホームページの作成・更新、よくある質問の整備
- ・メディア対応: テレビ・新聞への取材依頼、当日のプレス対応設計
- ・後援申請: 教育委員会（糸島市・福岡県）、学校配布

中内（会場・制作・スポンサー）

- ・会場設営全般: テーブル配置、導線設計、誘導計画
- ・音響・ステージの設営
- ・警備の手配
- ・発電機の手配
- ・当日MC・進行: 開会式、カウントダウン、結果発表（or MC手配）
- ・安全・救護: 2,500人規模の安全管理、救護体制
- ・広報（フライヤー・ハンドブック）: フライヤー・おむすびギネスガイドブックの制作
- ・経費積算: 全体の経費見積もり

- ・ スポンサー営業: 大口10社、松田さんと共同

5.2 事務局

事務局（石長とチーム、事務局長は人選未定）

- ・ 参加者募集・管理: 2,500人の申込管理（Peatix）、参加者リスト
- ・ 出店者管理: 出店者の募集・選定・配置・当日対応
- ・ 問い合わせ対応: メール一本化、回答テンプレートに基づく統一対応
- ・ 入出金管理: 参加費・クラファン・スポンサー・出店料の入金確認
- ・ 口座管理: 実行委員会口座の管理
- ・ 3軸間の情報共有: 各部門の進捗把握、漏れ・重複の防止

5.3 運営方針

- ・ 実行委員会はコアメンバーの選定は慎重に、参加者はオープンに受け入れる（選別しない方針）
- ・ 当日ボランティアも別途募集
- ・ 実行委員会の規約は石長が作成
- ・ 口座は松田名義で開設
- ・ 余剰金が生じた場合は、実行委員会で協議のうえ処理する

6. 予算計画

6.1 収入の部

項目	金額	備考
参加費	¥11,100,000	大人¥5,000×1,940人+学生¥2,500×560人（Tシャツ付き）
クラファン/魂参加枠	¥3,000,000	¥10,000 × 300口（参加できないが応援したい人向け）
スポンサー（大口）	¥2,000,000	¥200,000 × 10社（競合かぶりなし）
スポンサー（小口）	¥1,000,000	¥20,000 × 50社
出店料	¥300,000	¥15,000 × 20台
合計	¥17,400,000	

参加費の設計:

- ・大人: ¥5,000/人（Tシャツ付き）
- ・学生（小学生以上）: ¥2,500/人（Tシャツ付き）
- ・家族の場合は人数分
- ・伊都の杜住民割引: 検討中

クラファン/魂参加枠の設計:

- ・当日参加はできないが、イベントの成功を応援したい人向け
- ・リターン: ホームページ等での感謝掲載（最小限）
- ・SNSやホームページで募集

スポンサーメニュー:

ランク	口数	単価	小計	主な特典
ダイヤモンド (大口)	10 社	¥200,000	¥2,000,000	リーフレット掲載（1/2面）、会場バナー、SNSメンション、競合かぶりなし
小口	50 社	¥20,000	¥1,000,000	ホームページへのロゴ掲載

※ 大口スポンサーは中内さん+松田さんが直接営業。小口はSNS告知後のお問い合わせで対応 ※ 競合かぶりなし（同業種の重複排除）はダイヤモンド枠のみ適用 ※ スポンサー商品の配布（OPP袋に詰めて参加者に配布）も可能

スポンサー営業のポイント（MTGでの議論）：

- 有名な大企業を1~2社先に確保すると、後の営業が格段にやりやすくなる
- やますえさん（明太子、糸島在住の社長）が最初の候補
- 主催者（松田さん）の思いを直接伝えることが最も重要
- 中内さんのネットワーク（10年のイベント実績）を活用
- 営業用の名刺・イベント資料を事前に作成

出店料:

- ¥15,000/台
- プレミアム化：「2,500人が集まるイベントへの出店権利」として付加価値を訴求
- 出店者もおにぎりギネスに参加可能（チャレンジ中は店を閉める想定）

6.2 支出の部

項目	概算金額	備考
ギネス優先審査	¥600,000	石長さん担当
ギネス公式審判員派遣	¥2,000,000	¥1,500,000～3,000,000の中間値で計上
独立証人	¥150,000	ギネス要件、弁護士・公認会計士等2名以上の立会い・証明書作成
Tシャツ制作	¥3,750,000	2,500枚×¥1,500（見積もり取得後に確定）
テーブルレンタル	¥1,000,000	長机約420台（6人/台×2,500人）、搬入・設営費込み
発電機レンタル	¥1,000,000	中内さん手配
音響・ステージ設備	¥1,000,000	中内さん積算
米の調達（約135kg）	¥100,000	地元農家（うっちゃん等）協力で減額の可能性あり
梅干し調達	¥50,000	地元で寄付収集が中心、不足分を購入（2,700個目標）
ホームページ制作・運用	¥150,000	実行委員会用+参加者用の2サイト、2～6月運用（ドメイン・ホスティング込み）
印刷物	¥200,000	フライヤー、リーフレット、名刺
映像・記録	¥200,000	テレビ局関係者の協力見込みあり
ロゴ・デザイン	¥100,000	梅野さん制作
警備員	¥400,000	¥20,000 × 20名、入退場管理・場内巡回・交通整理
保険	¥400,000	イベント賠償責任保険+食中毒特約+参加者傷害保険（2,500人規模）
通信機器（トランシーバー）	¥150,000	50台レンタル、運営スタッフ間連絡用
消耗品	¥300,000	使い捨て手袋・ラップ（全参加者分）、ウェットティッシュ、水容器等
衛生設備	¥150,000	仮設手洗い場、給水タンク（さんかく公園から運搬）、番重（冷却用）
ガス・燃料	¥100,000	炊飯用ガス
その他雑費	¥200,000	廃棄物処理、ゴミ袋等
Peatix手数料	¥968,000	参加費+魂参加枠の4.9%+¥99/枚
運営人件費	¥3,360,000	任期3/1～5/31。会長¥100,000/月×1名、副会長¥80,000/月×2名、事務局長¥80,000/月×1名、委員¥30,000/月×26名

項目	概算金額	備考
予備費	¥1,072,000	想定外の支出に備える
支出合計（概算）	¥17,400,000	中内さんの積算により精緻化予定

6.3 収支見通し

金額	
収入合計	¥17,400,000
支出合計	¥17,400,000
差引	¥0

※ 支出は中内さんの積算により変動する可能性あり ※ 収支均衡の計画。
実績で余剰金が生じた場合は実行委員会で協議（コアメンバーへの分配、次回イベントへの資金等）

第4部: 実行計画

7. タイムライン

7.1 目標設定

推奨目標: 2,000人以上の成功

- 現記録(1,876人)を約6.6%上回る
- 挑戦者総数: **2,500人を先着募集**
- 予想失格率を5%と仮定: $2,500 \times 0.95 = 2,375$ 人 (十分な余裕)

7.2 全体スケジュール

第1段階: 企画確定・ギネス申請 (2月下旬～3月上旬)

【最優先】ギネス申請:

- 2月23日（月）にギネスへ初回コンタクト

- ・優先審査（約¥600,000）を利用し、2～6週間での承認を目指す
- ・ギネスが5月30日に審判員を派遣できるかの確認が**全体のクリティカルパス**
- ・不可の場合、日程変更を検討

同時進行:

- ・実行委員会の役割確定（2月中）
- ・ロゴ制作開始（梅野さん）
- ・参加者・出店者募集開始（Peatix、ホームページから誘導）
- ・スポンサー営業開始（中内さん・松田さんで大口10社）
- ・SNS本格展開（インスタ中心）

第2段階: 募集・広報・スポンサー確定（3月）

3月上旬～中旬:

- ・フライヤー（A4 1枚）制作・印刷（ロゴ完成後）
- ・リーフレット制作（スポンサー向け配布物）
- ・スポンサー営業用名刺の作成
- ・メディアへの声かけ（めんたいワイド等）
- ・教育委員会への後援申請（糸島市・福岡県）
- ・学校へのチラシ配布（教育委員会の後援取得後）

3月下旬:

- ・スポンサー大口10社の確定（デッドライン）
- ・SNSでスポンサー告知→小口スポンサーの募集開始
- ・参加者募集状況の確認

第3段階: オンライン説明会・調達 (4月)

- ・オンライン説明会を複数回開催（士気向上＋ルール説明＋当日欠席防止）
- ・開催日は4月中に複数回（土曜・日曜それぞれ、具体的日程は調整）
- ・米・釜の調達確定（松田さん＋地元農家）
- ・Tシャツ発注
- ・会場レイアウト確定（ギネスレギュレーションに基づく）
- ・テーブル等の発注（中内さん）

第4段階: 最終準備 (5月上旬～中旬)

- ・ギネスからの承認・ガイドライン受領の確認
- ・審判員チームの編成・トレーニング
- ・ボランティアスタッフの研修
- ・配布物の準備（リーフレット、スポンサー商品のOPP袋詰め等）
- ・メディア向け最終プレスリリース

第5段階: 実行 (5月下旬)

- ・前日夜: テーブル搬入・設営（中内さん指揮）
- ・5月30日（土）: 本番

8. 会場計画

8.1 会場の強みと制約

会場の強み

- ・**地元密着:** 伊都の杜は730世帯・約2,300人の住宅地。徒歩圏内に大量の潜在参加者
- ・**実績あり:** 夏祭り（出店23台）、もちつき等のイベント開催実績

- ・**手続き簡便**: 公園のため糸島市に申請するだけ。契約不要
- ・**石長さんの知見**: 自治会長6年の経験で、公園の使い方・制約・近隣対応を熟知
- ・**アクセス**: 駅近くで高齢者も来場可能。若年層～子育て世代～シニアまで幅広い参加が見込める

会場の制約と対応

制約	対応策
電気なし	イベント用大型発電機（中内さん手配）
水道なし	さんかく公園（約300m）の水道を活用。給水タンクでしばふ公園へ運搬。手洗い場の設置
屋根なし	テントは設置しない（ドローン撮影の妨げになる）。雨天時はレインコート対応
騒音配慮	昼スタート（朝8時頃搬入・設営）

8.2 設営計画

- ・**前日夜**: テーブル搬入・配置（中内さん指揮）
- ・**テーブル**: 長机（奥行90cm×横幅180cm）を配置。1台あたり5～8人（台数はギネスレギュレーション確認後に確定）
- ・**ステージ・音響エリア**: マイク・スピーカー設置（中内さん積算）
- ・**出店エリア**: しばふ公園周辺に約20台分
- ・**受付エリア**: 入口付近

8.3 炊飯計画

- ・**方式**: ガス釜を使用（屋外炊飯）。電気釜を使用する場合は発電機（中内さん手配）で電源確保
- ・**炊飯場所**: しばふ公園内、またはさんかく公園（約300m、水道あり）での炊飯も選択肢

- ・**釜の調達:** 業務用ガス炊飯器（5升炊き）を15～20台確保（レンタル or 住民協力）。家庭用炊飯器では容量不足のため、業務用が必須
- ・**米の量:** 約135kg（2,500人×約55g(生米)、予備20%込み）→ 炊飯後 約300kg
- ・**炊飯タイミング:** 当日朝7～8時から開始、12時スタートに間に合うよう 逆算
- ・**温度管理:** 炊きたて（95度）では握れないため、バット（番重）に薄く 広げ、送風機を併用して冷却。手で握れる温度（50～60度）まで下げる。食中毒リスク（セレウス菌は28～35度で増殖）を考慮し、危険温 度帯での滞留時間を最小化する

8.4 衛生管理

【重要】ギネスの食品ポリシーへの対応: ギネス世界記録の公式ポリシーでは、食品を扱う記録において「全ての食品は人間が消費するために分配・寄付されなければならない（食品廃棄禁止）」と定められている。つまり、作ったおにぎりは食べることが前提であり、「食べないイベント」という立て付けは採用できない。過去のおにぎりギネス挑戦（川崎JC、旭川市等）でも、記録認定後に参加者全員がおにぎりを食べている。

- ・**保健所への事前相談:** 糸島保健福祉事務所（福岡県管轄）に事前相談を行い、必要な届出・衛生管理体制を確認する。福岡県はイベントでの「おにぎり」の提供を食中毒リスクが高い食品として注意喚起しているため、十分な対策が必要
- ・**食品衛生責任者の配置:** ギネスのガイドラインでも「食品衛生管理の資格者が終始携わること」が求められている。有資格者を確保し、当日の衛生管理を監督する
- ・**手指衛生:** さんかく公園（約300m）の水道を活用し、給水タンクでしぶふ公園に水を運搬。仮設手洗い場を会場内に複数箇所設置する。加えて、**使い捨て手袋またはラップを全参加者に配布し、素手での調理を避ける**（黄色ブドウ球菌対策）

- ・**除菌:** 除菌ウェットティッシュを各テーブルに配置（手洗いの補助として使用）
- ・**おにぎりの取り扱い:** 作ったおにぎりは審査後に参加者が食べる（ギネスの食品廃棄禁止ポリシーに準拠）
- ・**出店業者:** 各自で保健所の臨時営業許可を取得（従来通り）
- ・**5月末の気象リスク:** 福岡の5月末は気温25～27度、梅雨入り前後の高温多湿環境。食品の温度管理に特に注意が必要

9. 集客・広報・後援

9.1 参加者募集戦略

募集概要

- ・**募集人数:** 2,500人（先着）
- ・**募集開始:** 3月上旬
- ・**募集プラットフォーム:** Peatix（ホームページ・SNSから誘導）
- ・**参加費:** 大人¥5,000/学生¥2,500（Tシャツ付き）

Peatixを採用する理由:

- ・2,500人分の入金確認を手動（銀行振込）で行うのは事務局が破綻する
- ・決済が簡便（クレジットカード・コンビニ払い等）
- ・参加者への一斉連絡機能（説明会案内、当日リマインド等）
- ・QRコード受付で当日の受付オペレーションが効率化
- ・クラファン/魂参加枠（¥10,000）も同じプラットフォームで販売可能
- ・**手数料:** 有料チケット4.9% + ¥99/枚（参加費+魂参加枠で約¥968,000、支出に計上）

参加条件

- ・**対象:** おにぎりを自力で1個作れること（年齢制限の詳細はギネスレギュレーション確認後に決定）
- ・**小学生の参加:** 保護者の同伴が必要（保護者も参加者として登録）
- ・**事前準備:** オンライン説明会への参加を推奨。自宅での練習を推奨

割引制度

- ・学生（小学生以上）: ¥2,500（大人の半額）
- ・伊都の杜住民割引: 検討中

募集チャネル

オンライン:

- ・公式ホームページ（Peatixへの導線）
- ・Instagram（メインSNS、アカウント作成済み）
- ・リール動画での告知→ホームページ誘導
- ・よくある質問はホームページに掲載し、個別返信を最小化

オフライン:

- ・フライヤー（A4 1枚）の配布
- ・学校への配布（教育委員会の後援取得後）
- ・伊都の杜住民への直接案内（自治会ルートの活用）
- ・各実行委員メンバーの個人ネットワーク

出店者募集

- ・参加者募集と同時に開始
- ・Peatixで申し込み
- ・出店料: ¥15,000/台

- ・約20台を想定（しばふ公園の過去実績から）
- ・出店者もギネスチャレンジに参加可能

9.2 事前準備: オンライン説明会

方針の変更

当初はリアルの練習会（4回×各550人）を計画していたが、MTGでの議論を踏まえオンライン説明会に変更。

変更の理由:

- ・2,000人以上の参加者にリアルの練習機会を提供するのは統率が取れない
- ・会場の確保・材料の準備など練習会のコストが大きい
- ・おにぎりを握ること自体の難易度は低い
- ・当日欠席の防止・士気向上が主目的

オンライン説明会の内容

- ・ギネス記録の歴史と意義
- ・当日のルール・手順の説明
- ・握り方のコツ（動画デモ）
- ・よくある失格パターンと回避方法
- ・当日のスケジュール・会場案内
- ・質疑応答

開催計画

- ・4月中に複数回開催（土曜・日曜それぞれ）
- ・参加は強く推奨（必須ではない）
- ・録画をアーカイブ配信し、当日まで視聴可能に

- ・説明会未参加者にもアーカイブ動画を送付

自宅での練習推奨

- ・80～120gのおにぎりを梅干し入りで握る練習
- ・5分以内に完成させる時間感覚の確認
- ・梅干しが外から見えない握り方の練習

9.3 広報・メディア戦略

ロゴ・ビジュアルアイデンティティ

- ・**ロゴ制作:** 梅野さんがAIを活用して制作（2月中完成目標）
- ・**Tシャツ:** ロゴ入り、参加費に含む。「おむすびギネス2026」のようなデザイン
- ・**フライヤー:** A4 1枚、ロゴ完成後に印刷（中内さんの印刷会社3～4社で対応可能）
- ・**リーフレット:** スポンサーLOGO掲載、参加者へのお土産袋に同梱
- ・**スポンサー営業用名刺:** イベント概要入り

SNS戦略

メインチャネル: Instagram (アカウント作成済み)

運用方針:

- ・リール動画中心の発信
- ・問い合わせへの個別返信は基本しない（「詳しくはホームページへ」で誘導）
- ・スポンサー確定時にロゴ紹介投稿
- ・カウントダウン投稿
- ・準備風景の公開

ハッシュタグ:

- ・ #おむすびギネス
- ・ #ギネス世界記録
- ・ #糸島
- ・ #伊都の杜
- ・ #onigiri
- ・ #GuinnessWorldRecords

メディア対応

テレビ:

- ・ めんたいワイド (FBS福岡放送) : まるさん経由で声かけ
- ・ その他テレビ局: ほのかちゃん、中村さん経由
- ・ 当日取材の受け入れ

問い合わせ対応:

- ・ **メール一本化:** すべての問い合わせはメールに集約
- ・ SNSへの問い合わせ: 基本的に「いいね」のみ。個別返信しない
- ・ よくある質問はホームページに随時追加 (石長さんが更新)
- ・ メール対応は事務長 (1人) が統一して返信
- ・ 回答テンプレートを事前に準備し、人によって回答が変わらないようにする

プレスリリースの展開

第1弾 (3月中旬) : 挑戦発表・参加者募集開始 **第2弾 (4月中旬) :** 進捗報告・スポンサー紹介 **第3弾 (5月中旬) :** 直前告知 **第4弾 (当日夜または翌日) :** 結果速報

9.4 後援

取得目標

機関	目的	担当
糸島市教育委員会	学校へのチラシ配布	石長さん（事業計画書を作成）
福岡県教育委員会	県内学校への周知	県庁勤務経験者のメンバーが対応

後援を取る理由:

- ・学校（糸島高校、糸島農業高校、九州大学等）へのチラシ配布が可能になる
- ・プロジェクト自体の信頼性向上
- ・教育的意義（食育・文化体験）のアピール

注意: 糸島市の補助金は申請しない（手続きの煩雑さ、福岡市メンバーの参加制限等のデメリットが大きく、参加費収入で十分に賄えるため）

10. ギネス申請プロセス

10.1 申請手順

方針: 優先審査を採用

MTGでの決定により、**優先審査（約¥600,000）を採用する。**標準審査（12週間）では5月30日に間に合わないリスクが高い。

申請手順

1. ギネス公式サイトでアカウント作成
2. 「Apply for a record」→既存の記録カテゴリーを選択
3. 優先審査オプションを選択・支払い（約¥600,000）
4. 審査期間: 約5営業日で承認
5. 承認後、ガイドライン資料が送付される

初回コンタクト

- ・ まず無料の初回ミーティング（こんなことをやりたい、の概要説明）
- ・ その後、正式な申請ミーティング（有料、約¥600,000）
- ・ 石長さんが2月23日（月）に初動

支払いについて

- ・ **前払いが原則:** ギネスの法人向けサービスは、支払い確認後にガイドラインの送付・認定員の正式確保が進行する。後払いは不可
- ・ 請求書の発行は可能（銀行振込用）だが、あくまで前払いのための請求書
- ・ **3月上旬までに前払い資金を確保**しておく必要がある（ガイドライン受領と認定員確保のスケジュールに直結）

10.2 公式審判員派遣

費用: 別途見積もり（通常¥1,500,000～¥3,000,000）

メリット:

- ・ 当日その場で認定
- ・ 証拠収集の負担軽減
- ・ メディア効果が最大化
- ・ 参加者の達成感が即座に得られる

最重要確認事項: ギネス審判員が**5月30日に来日・派遣可能か。**これが全体のクリティカルパスであり、不可の場合は日程変更を検討する。

第5部: 当日運営

11. 当日オペレーション

11.1 タイムテーブル

前日夜

- ・ テーブル搬入・設営（中内さん指揮）
- ・ 音響・ステージ設備の設置

7:00～8:00 スタッフ集合・炊飯開始

- ・ 炊飯チーム集合、ガス釜で炊飯開始（公園内）
- ・ 米の量：約135kg

8:00～10:00 炊飯・準備

- ・ 炊飯継続
- ・ 会場最終確認
- ・ 撮影機材セットアップ（ドローン含む）
- ・ 音響・タイマー動作確認

10:00～11:00 米冷却・受付開始

- ・ 炊飯完了、握れる温度まで冷却（約1時間）
- ・ 参加者受付開始
- ・ 番号札・ゾーン案内
- ・ Tシャツ配布（事前に参加費と一緒に発送済みの場合は不要）

11:00～11:30 配膳準備

- ・ 冷却完了した米を各テーブルに配膳
- ・ 梅干し・水容器・ウェットティッシュの配置

- ・配膳方式はギネスレギュレーション確認後に決定（個別計量配分 or 共有ボウル等）

11:30～11:50 開会式

- ・主催者挨拶（松田さん）
- ・ギネス公式説明
- ・ルールの最終確認

11:50～12:00 最終準備・リマインド

- ・ステージでの手順リマインド実演
- ・手の衛生確認（ウェットティッシュ使用の案内）
- ・審判員の配置完了
- ・全力メラの録画開始

12:00～12:05 挑戦

- ・カウントダウン
- ・12:00:00 スタート
- ・5分間の挑戦
- ・時間告知（残り3分、2分、1分、30秒）

12:05～12:45 審査

- ・審判員が担当エリアを巡回、おにぎりを個別検査
- ・合格・不合格の判定
- ・参加者は審査完了まで着席を維持
- ・ステージではコンテンツ上映等で待機時間を活用

12:45～13:00 結果発表

- ・成功者数の発表
- ・ギネス記録達成の宣言（公式審判員がいる場合）

- ・記念撮影（ドローン空撮含む）

13:00～13:30 閉会式

- ・ギネス認定証の授与（後日の場合は仮証書）
- ・参加者全員への感謝
- ・メディアインタビュー

13:30～ マルシェ・自由時間

- ・出店エリアの営業
- ・ライブ・ステージイベント（実施する場合）

15:00～ 片付け

- ・廃棄物の分別回収
- ・会場清掃
- ・機材撤収

11.2 人員配置

運営スタッフ: 詳細は実行委員会で決定。以下は想定。

役割	備考
総合指揮	石長さん中心
受付・誘導	ボランティアスタッフ
審判員	1人あたり約20～25個を担当（100人前後、ギネスレギュレーション次第）
記録・撮影	テレビ局関係者 + ドローン操縦者
時間管理	タイマー操作、時間告知
材料配布	米・梅干しの配膳
炊飯チーム	松田さん+地元協力者
医療・安全	応急処置、安全管理
メディア対応	取材対応、プレス窓口
出店管理	出店者の対応

11.3 ボランティアスタッフ

2,500人規模のギネス挑戦イベントでは、運営に**約300人規模のボランティアスタッフ**が必要と見込まれる。募集は4月中に開始し、5月上旬までに確定する。

カテゴリ	想定人数	備考
受付	32~40人	16~20レーンのQRコード受付（1レーンにスタッフ2名）
配膳	40~50人	炊飯後の米を約420台のテーブルに配膳
スチュワード（ギネス規定）	50人以上	ギネス基準で50人以下のグループに1人。参加者の行動監視・失格記録
品質審査員	100~125人	おにぎりの個別検査（形状・梅干し・サイズ）
誘導・案内	20~30人	会場内の動線案内、テーブル誘導
炊飯・冷却チーム	15~20人	ガス釜での炊飯、冷却作業
Tシャツ配布	10~15人	受付後の配布ブース
安全・救護	5~10人	応急処置、熱中症対応
本部・MC・映像	15~25人	進行管理、カメラ・映像
合計	約290~365人	

注意: スチュワード（ギネス規定の監視員）と品質審査員は別の役割。スチュワードは参加者が規定通りに行動しているかを監視し、品質審査員はおにぎりの合否を判定する。スチュワードは主催者から独立した人物であることが求められる。

11.4 雨天時の対応

- 基本方針:** テントは設置しない、雨天決行
- 参加者:** レインコート着用で対応
- おにぎりの保護:** 完成後すぐにカバーをかける（おにぎりが崩れない状態を守る）
- テントを設置しない理由:** ドローンでの空撮時にテントが邪魔になる。
上からの記念撮影で参加者の顔が見えなくなる

12. 審査・記録・証拠収集

12.1 審査基準と検査プロセス

審査員の訓練

必須トレーニング: 当日1週間前に実施

訓練内容:

1. ギネス規定の詳細説明
2. 合格・不合格の判定基準
3. サンプルおにぎりでの判定練習
4. 境界線ケースの判断方法
5. 記録シートの記入方法

検査チェックリスト

各審査員は以下の項目を確認:

形状:

- ・ 三角形または丸型が保たれているか
- ・ 崩れや変形がないか

梅干しの位置:

- ・ 外から見えていないか
- ・ 完全に米で覆われているか

サイズ・重量:

- ・ 最低基準 (80~120g) を満たしているか
- ・ 目視および必要に応じて計測

完成度:

- ・時間内に完成しているか

判定プロセス

1. **1次検査（目視）**: 全審判員が担当分を目視
2. **疑義ある場合**: 上級審判員が再検査
3. **最終判定**: 審判長が判断
4. **集計**: 合格数を複数人で確認
5. **ダブルチェック**: 独立した2つのチームで集計

要確認事項（ギネスレギュレーション）

以下の項目はギネス申請時に確認が必要:

- ・審査は5分終了直後に行うのか、一定時間後でも可か
- ・審判員の必要人数と資格要件
- ・梅干しのサイズ規定はあるか（小粒でも可か）
- ・ラップの使用は可能か
- ・米の配分方式に指定はあるか（個別計量 or 共有ボウル）
- ・参加者の年齢制限はあるか

12.2 記録・証拠の収集

必須の記録資料

ビデオ記録:

- ・メインカメラ: 会場全体の俯瞰撮影（下記「ドローン撮影の課題」参考照）
- ・サブカメラ1: 参加者の作成風景（複数アングル）
- ・サブカメラ2: タイマー表示の連続撮影

- ・サブカメラ3: 審査プロセスの記録
- ・テレビ局カメラマンの協力（2名見込み）

【要検討】ドローン撮影の課題: ドローンによる空撮は記録の証拠・記念撮影として極めて有効だが、法的ハンドルが非常に高い。

- 1. 航空法上の規制:** イベント（催し物）上空でのドローン飛行は**カテゴリーIIA**に分類され、国家資格・機体認証を持っていても**個別の許可・承認申請が必須**（省略不可）
- 2. 立入管理措置の義務:** 飛行高度に応じた立入禁止区域の設定が必要（高度20m未満→半径30m、高度50m以上→半径60m）。2,500人が作業中の会場上空で立入禁止区域を確保することは**極めて困難**
- 3. DID（人口集中地区）:** 伊都の杜は住宅地であり、DID地区に該当する可能性が高い。該当する場合、別途許可が必要
- 4. 申請期限:** 飛行開始予定日の少なくとも10開庁日前（実質3~4週間前）までに国交省に申請
- 5. 無許可飛行の罰則:** 最大50万円の罰金

代替案の検討:

- ・会場外周から望遠レンズで斜め撮影
- ・高所カメラ（クレーン・ポール）の使用
- ・参加者全員着席状態（おにぎり作り中・審査中）にのみ上空飛行（立入管理が容易）
- ・専門のドローン撮影業者（航空法に精通した業者）への委託を強く推奨

写真記録:

- ・開始前: 全参加者の集合写真（ドローン空撮）
- ・進行中: 作成風景（多数）
- ・完成後: 完成したおにぎりの配列
- ・審査中: 審査員による検査風景
- ・最低300枚以上の写真

文書記録:

- ・参加者全員の署名入り参加者リスト
- ・証人（第三者）の宣誓書
- ・タイムキーパーの記録シート
- ・審判員の判定記録シート（全数分）

証人の手配

独立した証人: 最低2名必要

- ・弁護士、公認会計士、公証人など
 - ・イベントに利害関係のない第三者
 - ・開始から終了まで立ち会い
 - ・署名入り証明書を作成
-

第6部: リスク・法務

13. リスク管理と対策

13.1 想定されるリスク

1. ギネスが5月30日に対応できない（最大リスク）

- ・**リスク:** 審判員の派遣不可、または承認が間に合わない
- ・**対策:** 日程をギネス側の都合に合わせて変更する（MTGで合意済み）
- ・**判断時期:** 2月下旬～3月上旬の初回コンタクト時

2. 参加者不足

- ・**リスク:** 2,500人に達しない
- ・**対策:**
 - 早期募集開始（3月上旬）

- 伊都の杜住民（2,300人）への直接案内
- SNS・メディアでの露出拡大
- 学校へのチラシ配布（教育委員会後援取得後）
- 先着制で締め切ることで「早く申し込みないと」の動機づけ

・**判断基準:**

- 2,100人以上: 予定通り実施（失格率5%でも1,995人、記録更新可能）
- 1,900～2,099人: 続行、追加募集
- 1,900人未満: 実行委員会で続行/延期を協議

3. 参加者超過

- ・**リスク:** 2,500人を超える申し込み
- ・**対策:** 先着制で締め切り

4. 失格率の上昇

- ・**リスク:** 予想以上の失格で記録未達
- ・**対策:**
 - オンライン説明会への参加推奨
 - アーカイブ動画の配信
 - 2,500人募集による十分な余裕（5%失格でも2,375人）
 - 当日開始前のリマインド実演（11:50～12:00）

5. 天候

- ・**リスク:** 大雨、台風
- ・**対策:**
 - 雨天決行（レインコート対応）
 - テントなしのため、大雨時もオペレーションは変わらない
 - おにぎりの保護（完成後すぐにカバー）
 - 台風等の極端な場合のみ中止を検討

6. 設備トラブル

- ・ **リスク:** 発電機故障、音響機器不具合
- ・ **対策:**
 - バックアップ機器の用意（中内さんが手配）
 - 前日夜の動作確認

7. 挑戦前の記録更新

- ・ **リスク:** 2026年5月までに他団体が現記録を更新
- ・ **対策:**
 - ギネス公式サイトで記録動向を定期確認
 - 新記録が判明した場合、目標人数の上方修正を検討

13.2 保険の加入

イベント保険: 必須（2,500人規模の食品取扱イベントのため、標準より手厚い補償が必要）

保険種類	内容	必要性
イベント賠償責任保険	施設管理の瑕疵による第三者への賠償	必須
飲食物危険補償特約	食中毒発生時の賠償（基本補償では食中毒は対象外）	必須
参加者傷害保険（レクリエーション保険）	参加者自身のケガ・熱中症等	強く推奨
興行中止保険	荒天等による中止時の損害補填	検討推奨

- ・ 費用総額: 約¥400,000（食中毒特約・傷害保険込み）
- ・ **注意:** 食品を扱うイベントでは、基本のイベント賠償責任保険だけでは食中毒は補償対象外。「飲食物危険補償特約」の付帯が必須

14. 法的手続き・届出一覧

本プロジェクトに必要な法的手続き・届出を一覧にまとめる。漏れ防止のため、進捗を本セクションで一元管理する。

#	手続き	届出先	担当	期限目安	状態
1	ギネス申請（優先審査）	ギネスワールド レコーズ	石長	2月下旬～3 月上旬	未着手
2	公園使用申請	糸島市	石長	3月中	未着手
3	大規模催事届出（2,500人超の 屋外催事）	糸島市消防本 部	未定	本番1ヶ月 前	未着手
4	避難計画の事前協議	糸島市消防本 部	未定	本番1ヶ月 前	未着手
5	ドローン飛行許可申請（カテゴ リーIIA）	国土交通省	未定（撮影 業者）	本番3～4週 間前	未着手
6	DID地区該当確認	国土地理院	石長	3月中	未着手
7	教育委員会後援申請	糸島市教育委 員会	石長	3月中	未着手
8	教育委員会後援申請	福岡県教育委 員会	県庁経験者 メンバー	3月中	未着手
9	イベント保険加入（賠償責任 +食中毒特約+傷害）	保険会社	未定	4月中	未着手
10	独立証人の手配（2名以上）	弁護士・公認 会計士等	石長	5月上旬	未着手
11	実行委員会口座の開設	金融機関	松田	3月上旬	未着手

補足:

- 糸島市の補助金は不採用（MTGで決定済み。手続きの煩雑さに対して効果が見合わない）
- 保健所への事前相談を実施し、必要な届出・衛生管理体制を確認する（出店業者は各自で臨時営業許可を取得）

15. 個人情報保護・プライバシーポリシー

2,500人の参加者情報を扱うため、個人情報の取扱方針を定める。

15.1 参加者情報の取扱い

項目	内容
収集する情報	氏名、連絡先（メールアドレス）、年齢区分（大人/学生）、決済情報 (Peatix経由)
利用目的	イベント運営（受付・連絡・Tシャツ配布）、ギネス証拠資料（署名入り参加者リスト）
第三者提供	ギネスワールドレコーズへの証拠資料提出に必要な範囲のみ
保管期間	イベント終了後、ギネス認定完了まで。認定完了後は速やかに削除
管理責任者	事務局長（人選未定）

15.2 写真・映像の肖像権

- ・ **事前同意の取得:** 参加申込時に「イベント中の写真・映像が広報・記録に使用される」ことへの同意を取得する (Peatix申込フォームに明記)
- ・ **使用範囲:** ギネス証拠資料、公式サイト・SNSでの広報、メディア提供
- ・ **ドローン空撮:** 全体俯瞰の記録用であり、個人の特定が困難な撮影であることを事前に説明する
- ・ **撮影拒否への対応:** 撮影を希望しない参加者への対応方針を事前に決定する

15.3 Peatix経由の決済情報

- ・ 決済情報（クレジットカード番号等）はPeatixが管理し、実行委員会は保持しない
- ・ Peatixのプライバシーポリシーに準拠

付録

付録A. 参加者向け案内（当日の持ち物・注意事項）

オンライン説明会・当日配布資料・公式サイトFAQの原本として、参加者向け案内を以下に定める。

持ち物

区分	内容
必須	レインコート（屋外開催・テントなし・雨天決行のため）
推奨	日焼け止め、帽子（5月末の屋外）、飲み物
不要	食材・調理器具（米・梅干し・手袋等は主催者が用意）

服装

- ・ 当日配布（または事前発送）の記念Tシャツ着用を推奨
- ・ 動きやすい服装・靴

アクセス

- ・ **最寄り駅:** JR筑肥線 筑前前原駅・九大学研都市駅
- ・ **駐車場なし:** 公共交通機関でのご来場をお願いしています

参加にあたっての注意

- ・ **小学生:** 保護者の同伴が必須（保護者も参加者として登録）
- ・ **キャンセル・返金:** 不可。荒天による中止の場合も返金不可（Tシャツはお届けします）
- ・ **おむすび作りの経験:** 不問。オンライン説明会（4月・アーカイブあり）で手順を案内
- ・ **申し込み:** 1名ずつ個別にPeatixで申込（グループ申込なし）

当日の流れ（参加者視点）

時間	内容
10:00～	受付（QRコード提示・Tシャツ配布・ゾーン案内）
11:30～	開会式（主催者挨拶・ギネス説明・ルール確認）
11:50～	最終準備（手順リマインド・手指衛生）
12:00～12:05	おむすび作成（5分間）
12:05～12:45	審査（着席のまま待機）
12:45～	結果発表・記念撮影
13:30～	マルシェ・自由時間

付録B. 連絡先・問い合わせ窓口

項目	内容
公式サイト	https://omusubi-guinness-itoshima.com
実行委員会ページ	https://omusubi-guinness-itoshima.com/committee/
参加申込（Peatix）	※準備中
Instagram	※アカウント作成済み（URL未定）
問い合わせメール	※未定（事務局メールアドレスを設定予定）

問い合わせ対応方針：

- すべての問い合わせはメールに一本化
- SNSへの問い合わせには基本的に「いいね」のみ。個別返信しない
- よくある質問は公式サイトに掲載し、個別対応を最小化する
- メール対応は事務局長（1人）が統一して返信
- 回答テンプレートを事前に準備し、人による回答のばらつきを防ぐ

付録C. 用語定義

本ガイドで使用する主要な用語を定義する。

用語	定義
コア3軸	松田・石長・中内の3人による横並び・対等な権限の運営体制。各自が担当領域をグリップする
スチュワード	ギネス規定の監視員。参加者が規定通りに行動しているかを監視する。主催者から独立した人物であることが求められる。品質審査員とは別の役割
品質審査員	おむすびの合否を判定する審査員。形状・梅干しの位置・サイズ・重量を検査する
独立証人	ギネス要件として必要な第三者の立会人。弁護士・公認会計士・公証人等、イベントに利害関係のない2名以上
魂参加枠	当日参加できないが、イベントの成功を応援したい人向けの支援枠（¥10,000/口）。リターンはホームページ等での感謝掲載のみ
優先審査	ギネスの有料審査オプション（約¥600,000）。標準審査（約12週間）に対し、約5営業日で承認が得られる
DID（人口集中地区）	国勢調査に基づく人口密集エリア。ドローン飛行に国土交通省への別途許可が必要
番重（ばんじゅう）	業務用の浅型コンテナ。炊き上がった米を薄く広げて冷却するために使用
カテゴリーIIA	航空法上のドローン飛行分類。イベント上空での飛行がこれに該当し、国家資格があっても個別の許可・承認申請が必須

付録D. 最終チェックリスト

2月中に完了すべき事項

- 実行委員会の役割確定
- ギネスへの初回コンタクト（2/23月曜）
- ギネス優先審査の申請・支払い
- 5月30日の審判員派遣可否の確認

3月上旬までに完了すべき事項

-

□ 口ゴ制作開始（梅野さん）

□ 参加者募集開始（Peatix）

□ 出店者募集開始

□ スポンサー営業開始（大口10社）

□ SNS本格展開

□ ホームページの更新・統合

3月中に完了すべき事項

□ 口ゴ完成

□ フライヤー制作・印刷

□ スポンサー営業用名刺の作成

□ スポンサー大口10社の確定

□ 教育委員会への後援申請

□ メディアへの声かけ

□ SNSでスポンサー告知→小口募集開始

□ 事務長・会計の人選確定

□ 中内さんによる経費積算の完了

4月中に完了すべき事項

- オンライン説明会の実施（複数回）
- 米・釜の調達確定
- Tシャツ発注
- テーブル等の発注確定
- 会場レイアウト確定（ギネスレギュレーションに基づく）
- 審判員チームの編成
- ボランティアスタッフの募集・確定

5月上旬～中旬に完了すべき事項

- ギネスからの承認・ガイドライン受領の確認
- 審判員トレーニング
- ボランティアスタッフ研修
- 配布物の準備（リーフレット、OPP袋詰め等）
- メディア向け最終プレスリリース
- 独立証人（2名以上）の手配・出席確定

前日～当日

- 前日夜：テーブル搬入・設営完了
-

前日夜: 音響・ステージ設備の動作確認



当日朝: 炊飯開始



当日: スタッフ全員の出席確認



当日: 全カメラの録画開始（ドローン含む）



当日: タイマーの正確な作動



当日: 審判員の配置完了



当日: 証人の立ち会い確認

付録E. 記録未達・達成後の対応

E.1 記録未達の場合

失格率が想定を超える、成功者数が現記録（1,876人）に届かなかった場合:

- ・ **参加者へ:** 挑戦したこと自体の価値を強調し、参加証明書は全員に配布する
- ・ **メディアへ:** 「次回への布石」としてポジティブに発信（「〇〇人が参加した糸島市の挑戦」）
- ・ **再挑戦:** 時期を設定し、今回の参加者に優先案内を行う
- ・ **振り返り:** 失格率・運営上の課題を分析し、次回計画に反映する

E.2 記録達成後の展開

短期的施策（1ヶ月）

1. 公式認定の取得

- ・ イベント後2週間以内にギネスへ証拠資料を提出

- ・提出物: 編集済みビデオ、写真(300枚以上)、署名入り参加者リスト、証人宣誓書、審判員判定記録
- ・認定審査期間: 提出後4-8週間

2. 地域への還元

- ・参加者全員への参加証明書配布
- ・記録達成報告会の開催
- ・地域メディアでの継続報道

3. 記録の活用

- ・観光PR素材として活用
- ・地域ブランド向上
- ・次年度イベントへの布石

中長期的施策（1年）

1. 定例イベント化

- ・他地域が記録を更新した場合、再挑戦の可能性
- ・地域の名物行事として定着

2. 経済効果の拡大

- ・地元米の販売促進
- ・観光客の誘致
- ・お米の消費量・価値向上への貢献

3. 教育・文化振興

- ・食育プログラムの展開
- ・日本文化の発信

付録F. まとめ

おにぎり同時作成のギネス世界記録挑戦は、**日本の食文化を世界に発信する素晴らしい機会**であり、伊都の杜を中心とした地域コミュニティの結束を強める力があります。

2/21 MTGで見えてきた強み:

- ・ 参加費（大人¥5,000/学生¥2,500）×2,500人で**収入基盤が盤石**（約¥11,100,000）
- ・ 伊都の杜しばふ公園という**地元密着の会場**（730世帯2,300人が徒歩圏内）
- ・ イベント運営10年の経験を持つ中内さん、自治会長6年の石長さん、SNS発信力のある松田さんという**コアメンバーの組み合わせ**
- ・ スポンサー・メディア・地元農家など**具体的な協力者のネットワーク**

最大のクリティカルパス: ギネスが5月30日に審判員を派遣できるかどうか。ここでの確認が全ての前提条件。2月23日（月）の初回コンタクトで早急に確認する。

成功の鍵は5つ:

1. ギネス申請の迅速な完了と審判員派遣の確定
2. 伊都の杜住民を中心とした2,500人の確実な集客
3. スポンサー・クラファン枠による十分な資金確保
4. 実行委員会メンバーの役割分担と着実な実行
5. 当日のシンプルで確実なオペレーション

付録G. 変更履歴

260206版 → 260221版 (2026年2月21日 おむすびMTG反映)

MTG参加者: 石長、松田、中内、梅野、藤井、松山、中野、白木

以下、MTGでの議論の要点と、それに基づくガイドブックの変更内容を記載する。

1. 会場の確定: 屋内施設 → 伊都の杜 しばふ公園（屋外）

議論の要点: 石長さんが自治会長として6年間の実績があり、しばふ公園の使い方・制約・近隣対応を熟知している。糸島市への申請のみで利用可能で、契約が不要という手続きの簡便さが大きなメリット。伊都の杜は730世帯2,300人の住宅地で、徒歩圏内に大量の潜在参加者がいる。

変更内容: 屋内施設の候補リスト・選定基準を削除し、しばふ公園に特化した会場セクションに書き換え。電気・水道がないことへの対応策（発電機、水タンク）を記載。

2. テントなし・雨天決行

議論の要点: 中内さんとの議論で、テントを設置すると大掛かりになりすぎることが判明。さらに、ドローンでの空撮時にテントが邪魔になり、上からの記念撮影で参加者の顔が見えなくなるため、テントなしが最善と判断。雨天時はレインコートで対応し、おにぎりの保護を最優先とする。

変更内容: 屋内施設前提の記述を削除。雨天決行・レインコート対応を明記。

3. 開始時間の変更: 午前10時 → 昼12時頃

議論の要点: 当日朝の早い時間から搬入・設営すると近隣住民への騒音問題がある。前日夜に設営し、当日は炊飯から開始する方針に。また、昼スタートの方が「寝坊する人」への配慮にもなるとの意見。

変更内容: タイムテーブルを全面修正。前日夜搬入→当日朝7時炊飯開始→12時チャレンジの流れに変更。

4. 参加費の大幅変更: ¥1,000/人 → ¥5,000/人 (Tシャツ付き)

議論の要点: 松田さんから「共通Tシャツを作りたい。おむすびギネス2026のような黒いTシャツとセットで5,000円で参加権利として販売し、プラスの分を運営費に」との提案。全員一致で賛同。2,000人×5,000円で1,000万円以上の収入が見込めることが判明し、予算構造が根本的に変わった。

変更内容: 参加費を¥5,000 (Tシャツ付き) に変更。各種割引（家族割・学生割等）は「検討中」に。収入計画を全面見直し。

5. クラファン/魂参加枠の新設: ¥10,000 × 300口

議論の要点: 「参加したいけどできない人」「応援したい人」向けの枠が必要との議論。梅野さんの経験から「1万円のただ応援枠が一番多かった」との実績情報あり。リターンなしの純粋な応援として設計。MTGでは500口で議論されたが、収支計画の精緻化に伴い300口に調整。

変更内容: クラファン/魂参加枠 (¥10,000×300口=¥3,000,000) を収入に追加。

6. スポンサーメニューの現実路線化

議論の要点: 中内さんの経験から「20万円で10社は全然いける」との見通し。大企業を1~2社先に確保すると後の営業がやりやすくなるという実務的なアドバイス。やますえさん（明太子、糸島在住社長）を最初の候補に。競合かぶりなしは大口枠のみ適用。小口プラン（10万/5万/1万）はSNS告知後に募集。

変更内容: 冠スポンサー100万円～の階層型メニュー → ダイヤモンド20万円×10社に変更。小口プランは「中内さんと協議後に確定」として枠のみ記載。

7. 補助金の不採用

議論の要点: 糸島市の補助金は最大で150万円程度だが、「福岡市の人人がダメ」「年1回の制限」など手続きが煩雑。参加費収入だけで1,250万円が見込めるため、手間に見合わないと判断。松田さん・石長さんともに「もういらない」で一致。

変更内容: 補助金¥400,000の収入計上を削除。ただし教育委員会の後援(学校へのチラシ配布目的)は取得する方針は維持。

8. 練習会の形式変更: リアル4回 → オンライン説明会

議論の要点: 2,000人以上に対してリアルの練習会を実施するのは統率が取れない。おにぎりを握ること自体の難易度は低く、主目的は「士気向上」「当日欠席防止」「ルール説明」であるため、オンラインで十分対応可能。

変更内容: リアル練習会4回（各550人、120分の完結型セッション）の詳細を削除。オンライン説明会（4月中に複数回、アーカイブ配信）に変更。セクションリーダー制も削除（必要に応じて当日のオペレーションで対応）。材料費（練習会用の米・梅干し）も削減。

9. 炊飯方法の変更: 別施設で早朝炊飯 → 公園内でガス釜

議論の要点: 松田さんの提案で「公園で釜を並べて炊く方が楽しい。香りの記憶になる」との意見。伊都の杜ではもちつき等で屋外炊飯の実績があり、住民が釜を持っている。うっちゃん（米農家）がプロとして品質管理を担当できる。

変更内容: 別施設での早朝炊飯計画を削除。公園内のガス釜炊飯に変更。炊飯チームの構成も変更。

10. 衛生管理の方針明確化

議論の要点: ギネスの食品ポリシーにより、作ったおにぎりは食べることが前提（食品廃棄禁止）。MTGでは「作るイベント」の立て付けも議論されたが、ギネスポリシーとの整合性を優先し、保健所への事前相談を行う方針とした。出店業者は各自で許可を取る（従来通り）。手指衛生は使い捨て手袋またはラップの配布＋仮設手洗い場の設置で対応。

変更内容: ギネスの食品廃棄禁止ポリシーを反映し、保健所への事前相談・食品衛生責任者の配置を明記。

11. 実行委員会体制の追加

議論の要点: MTGで各メンバーの強みと役割が明確になった。石長さん（全体ディレクション・ギネス）、松田さん（米・SNS）、中内さん（会場オペ・スポンサー）の3人がコア。事務長と会計は未定だが必須ポジション。余剰金はコミットに応じてコアメンバーで分配する方針。

変更内容: 実行委員会体制セクションを新規追加。確定メンバー・役割・未定ポジション・外部協力者・運営方針を記載。

12. 広報・メディアの具体化

議論の要点: インスタアカウントは作成済み。ロゴは梅野さんがAIで制作（3月中完成目標）。問い合わせはメール一本化し、SNSでは個別返信しない方針。テレビはめんたいワイド（FBS）等に具体的なコネクションあり。スポンサー営業用の名刺も必要。

変更内容: 広報セクションを具体的なアクション・担当者込みに更新。問い合わせ対応の方針を追加。

13. 後援セクションの追加

議論の要点: 糸島市・福岡県の教育委員会の後援を取得し、学校（糸島高校、糸島農業高校、九州大学等）へのチラシ配布を実現したい。事業計画書は石長さんが作成可能。県庁勤務経験者のメンバーもおり、教育委員会へのアプローチが可能。

変更内容: 後援セクションを新規追加。

14. 出店料の見直し

議論の要点: 「2,000人が集まるイベントへの出店権」としてプレミアム化。夏祭りの安い出店料ではなく、しっかり取るべきとの意見。伊都の杜住民は割引検討。出店者もおにぎりギネスに参加可能。

変更内容: 出店料を¥10,000～20,000に設定。プレミアム化の理由を記載。

15. 過去のおむすびギネス達成団体への連絡

議論の要点: 2016年等に記録を達成した団体に連絡し、経験談を聞くことが提案された。「こんな大変なことがあった」「これは考えてなかった」等の実体験は、ガイドブックに書けない現場のノウハウを得るのに非常に有益。ただし、ルールはあくまでギネス委員会の公式見解が最優先。

変更内容: 要確認事項として記載。アクション担当は今後決定。

数値の主な変更

項目	260206版	260221版
会場	屋内施設（未定）	伊都の杜 しばふ公園
日程	5/30 or 5/31	5/30（土）確定
開始時間	10:00	12:00
参加費	¥1,000/人	¥5,000/人（Tシャツ付き）
募集人数	2,200人	2,500人（先着）
収入合計	¥6,050,000	¥17,400,000
支出合計	¥6,050,000	¥17,400,000
補助金	¥400,000	¥0（不採用）
スポンサー	12社/¥3,200,000	大口10社/¥2,000,000 + 小口50社/¥1,000,000
クラファン枠	¥300,000	¥3,000,000（魂参加枠300口）
練習会	リアル4回（各550人）	オンライン説明会（複数回）
炊飯	別施設で早朝	公園内でガス釜
テント	屋内前提	なし（雨天決行）

本ガイドは2026年2月21日MTGの内容を反映した260221版です。ギネスレギュレーションの確認後、さらに更新する予定です。